

遠山小学校「駒の森」

文部科学大臣賞を受賞

遠山小学校では、昭和51年から学校周辺の林を「駒の森」と名付け、地域・児童・保護者が連携して里山としての保護活動を続けてきました。この活動がカタクリの花やアカハライモリなどの貴重な動植物の保護に貢献したと認められ、文部科学大臣賞を受賞しました。同校では月に一回、専門家を招いての環境学習を行っており、駒の森を子どもたちの自然保護意識を育むことに役立てています。



①受賞を喜ぶ関係者ら②豊かな自然が溢れる
③春の訪れを告げるカタクリの花④地域の協力で作られた建物も

マラソンピラティス教室 5月21日



楽しみながら体幹を鍛える

3人の講師から交代で指導を受ける「マラソンピラティス教室」が市体育館で行われました。この教室は筋力を強化したり柔軟性を高めたりするなど、講師によって重視する内容に違いがあるのが特徴。参加者は指導内容の違いを楽しみながら体幹や姿勢を意識した動きを教わりました。参加者の一人は「一回の教室でいろいろ教えてもらえて得した気分。疲れたけど楽しく取り組めた」と話していました。



腕と脚を上げて体勢をキープ

初心者のための組紐教室 5月30日



出来上がりを想像しながら

日本古来の伝統工芸に親しんでもらおうと「初心者のための組紐教室」が中郷公民館で行われました。全4回のうち初回のこの日は、講師から「江戸八つ組」という編み方を教わりながら、組みひも作りに挑戦。参加者同士で教え合うなど、和気あいあいとした雰囲気の中で取り組みました。参加者の一人は「編む順番を覚えるのが難しく、慣れるまでが大変でした。出来上がりが楽しみです」と話していました。



集中して糸を編み込む